

あなたと議会を結ぶ

# り と 議 会 だ り

No. 178

2016年5月1日発行

発行／栗東市議会 編集／議会広報編集特別委員会 〒520-3088 滋賀県栗東市安養寺一丁目13番33号  
TEL 077-551-0137 FAX 077-551-0146 メールアドレス／gikai@city.ritto.lg.jp



▲金勝小学校入学式



平成28年3月定例会は、市長から提案された 35議案（人事3件、条例10件、予算19件、その他3件）と意見書について審議しました。

議 案	2
平成28年度 一般会計予算等	
委員会報告	4
各常任委員会が議案を審査	
代表質問	6
各会派が施政方針等について問う	
個人質問	11
議員がそれぞれのテーマについて聞きました	
議会報告会	16
議会報告会を開催します	



平成28年度 一般会計予算のあらまし

247億4,300万円

新年度の一般会計予算は、前年度当初予算に比較して、14億5,300万円増額（6.2%）の予算が組まれました。

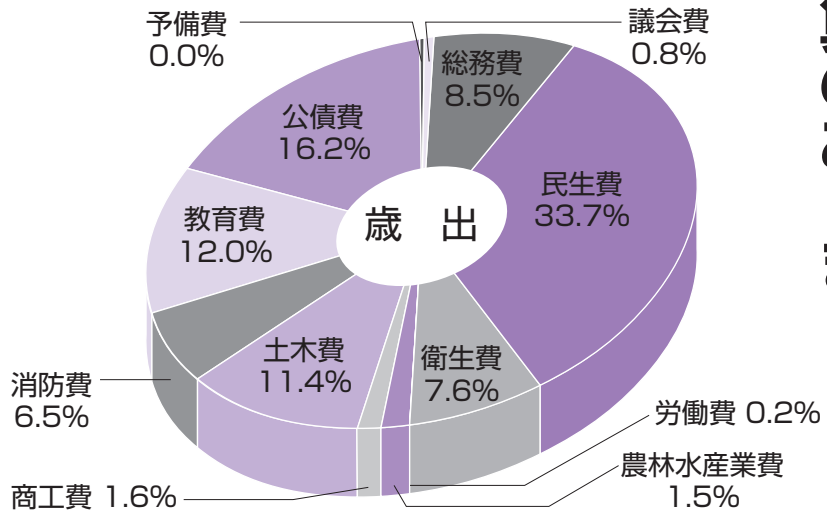
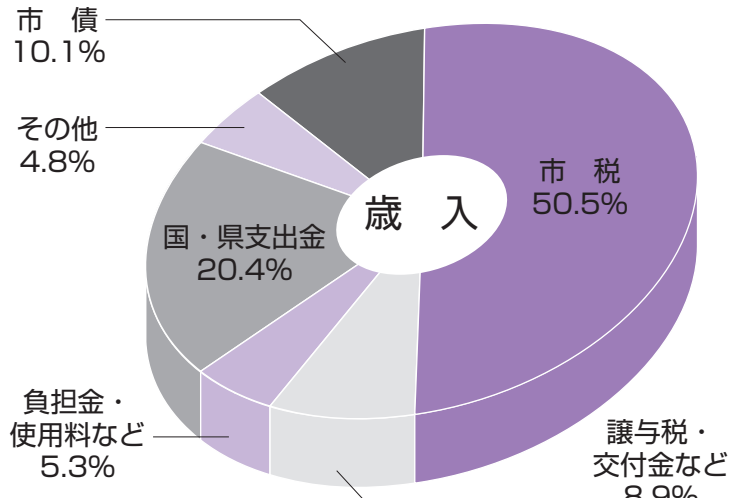
（可決・別表）

**歳入** (単位：千円)

市 税	12,503,309
譲与税・交付金など	2,202,635
負担金・使用料など	1,316,997
国・県支出金	5,036,420
その他	1,175,439
市 債	2,508,200
<b>合 計</b>	<b>24,743,000</b>

**歳出** (単位：千円)

議 会 費	187,124
総 務 費	2,092,759
民 生 費	8,347,518
衛 生 費	1,881,878
労 働 費	59,569
農林水産業費	368,785
商 工 費	381,241
土 木 費	2,822,549
消 防 費	1,617,520
教 育 費	2,977,605
公 債 費	3,996,452
予 備 費	10,000
<b>合 計</b>	<b>24,743,000</b>



平成28年度 特別会計当初予算

(単位：千円)

特別会計名	予算額	前年度当初予算	増減	採決結果
土地取得	1,458,269	664,021	794,248	可決・全
国民健康保険	6,100,131	6,066,210	33,921	可決・別表
後期高齢者医療	539,634	515,323	24,311	可決・別表
介護保険	3,399,448	3,168,291	231,157	可決・別表
墓地公園	5,269	5,276	-7	可決・全
大津湖南都市計画事業 栗東駅前土地区画整理事業	54,546	57,895	-3,349	可決・全
大津湖南都市計画事業 栗東新都心土地区画整理事業	81,890	83,213	-1,323	可決・全
水道事業会計	2,072,888	1,972,151	100,737	可決・全
公共下水道事業会計	3,291,163	3,293,145	-1,982	可決・全
農業集落排水事業	31,762	32,475	-713	可決・全
<b>合 計</b>	<b>17,035,000</b>	<b>15,858,000</b>	<b>1,177,000</b>	



## 平成27年度 一般会計・特別会計補正予算

会計名	補正額	予算総額	主な内容	採決結果
一般会計(第6号)	7億2,998万4千円(減額)	234億2,220万9千円	土木費等の減額	可決・全
土地取得特別会計	--	6億6,742万1千円	繰越明許費の設定	可決・全
国民健康保険特別会計	193千円(増額)	61億1,076万8千円	共同事業拠出金の増額	可決・全
後期高齢者医療特別会計	295万6千円(増額)	5億1,728万1千円	後期高齢者医療広域連合納付金の増額	可決・全
介護保険特別会計	1億812万9千円(減額)	30億7,425万3千円	保険給付費等の減額	可決・全
公共下水道事業会計	2,225万1千円(減額)	32億9,754万2千円	建設改良費の減額	可決・全
一般会計(第7号)	7,065万円(増額)	234億9,285万9千円	教育費の増額 (エレベーター棟増築事業)	可決・全

## 平成28年度 一般会計補正予算

会計名	補正額	予算総額	主な内容	採決結果
一般会計	7,065万円(減額)	246億7,235万円	教育費の減額 (エレベーター棟増築事業)	可決・全

採決結果の後に、「別表」とある議案の採決結果については、4ページの表をご覧ください。  
「全」とある議案は全員一致で可決されましたので表への記載は省略しています。

### 人事

**固定資産評価審査委員会委員に、浅井剛氏**

任期満了に伴い、浅井剛氏を選任することについて、意見を求められました。

(適任)

**教育委員会委員に、内記一彦氏**

任期満了に伴い、内記一彦氏を任命することについて議会の同意を求められました。

(同意)

**教育長に、福原快俊氏**

現教育長の退任に伴い、福原快俊氏を任命することについて議会の同意を求められました。

(同意)

### 条例

#### 一部改正

**行政不服審査法及び行政不服審査法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例**

行政不服審査法、行政不服審査法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴い、関係する条例の改正を行うものです。

(可決・全)

**非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び消防団員等公務災害補償条例**

地方公務員災害補償法施行令及び非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の改正に伴い、損害補償に関し、同一の事由により他の法律による年金たる給付が支給される場合における傷病補償年金及び休業補償の額に乘じる調整率を改定する等、所要の改正を行うものです。

(可決・全)

**議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例**

特別職報酬等審議会の答申を受け、市議会議員の議員報酬を改定するものです。(改定率5%)

(可決・全)

**職員の給与に関する条例等**

地方公務員法及び地方独立行政法人の一部を改正する法律等の施行に伴い、関係する条例の改正を行うものです。

(可決・全)

**家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例**

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、小規模保育事業所A型及び保育所型事業所内保育事業所において、保育士の数について特例を設ける等、所要の改正を行うものです。

(可決・全)

**放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例**

学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴い、放課後児童支援員の資格として、義務教育学校の教諭となる資格を有する者を加えるものです。

(可決・全)

**障害児地域活動施設の設置及び管理に関する条例**

障害児地域活動施設において、放課後等デイサービスを行うよう、所要の改正を行うものです。

(可決・全)

**指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例**

指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等の改正に伴い、指定認知症対応型通所介護事業者と指定介護予防運営推進会議を設置し、知見を有

する者等から要望等を聴くこととされたことから、所要の改正を行うものです。

(可決・別表)

### 新たな条例

**行政不服審査会の設置及び運営に関する条例**

市長等が行った処分等に対する審査請求について、その裁決の客観性や公正性を高めるため、第三者の立場から審理員が行った審理手続の適正性等、審査庁の判断の適否を審査する機関として、行政不服審査会を置くものです。

(可決・全)

**消費生活相談窓口の組織及び運営に関する条例**

消費者安全法の一部改正に伴い、消費生活相談窓口の組織、運営及び情報の安全管理に関する事項を条例で定めるものです。

(可決・全)

### その他

**市道2路線廃止 6路線認定**

開発に伴う市道の廃止による再認定のため岡区内5号線、開発に伴う市道の廃止のため上鉤東側線、線を廃止。市道新設整備事業のため中ノ井川2号支線、開発に伴う市道の廃止による再認定のため岡区内5号線、開発による道路の寄附・帰属のため岡区内7号線他3路線を認定するものです。

(可決・全)

**調停を成立させることにつき議会の議決を求めることについて**

平成23年6月10日付調停において、その内容を変更し、合意することの調停成立について議会の議決を求めるものです。

(可決・全)



# 賛否が分かれた案件の採決結果一覧

多=賛成多数 少=賛成少数 ○・・・賛成 ●・・・反対

件名	議員名	採決結果	新 政 会							公 明		再 生		ネ ッ ト ワ ー ク		共 産 党			
			寺田 範雄	三浦 悟	上田 忠博	片岡 勝哉	武村 賞	谷口 茂之	田中 英樹	三木 敏嗣	小竹 庸介	野々村照美	國松 篤	櫻井 浩司	田村 隆光	林 好男	中村 昌司	大西 時子	伊吹みちえ
■ 議 案																			
平成28年度	一般会計	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
	国民健康保険特別会計	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
	後期高齢者医療特別会計	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
	介護保険特別会計	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例等の一部を改正する条例	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●

\*議長(藤田啓仁議員)は採決に加わらない  
 \*会派名の正式名称は次のとおり  
 公明→公明栗東 再生→栗東再生市民派クラブ ネットワーク→栗東市民ネットワーク 共産党→日本共産党議員団

## 【臨時会】

平成28年2月24日に開催した第1回臨時会では、市長から提案された議案10件(条例3件、予算7件)について審議しました。

### 専 決

#### 条例の一部改正

**税条例**  
 市民税及び特別土地保有税の減免申請において、個人番号の記載を不要とすることについて、所要の改正を行うものです。  
 (承認・全)

### 条 例

#### 一部改正

**市長、副市長の給与等に関する条例及び教育委員会教育長の給与勤務時間その他の勤務条件に関する条例**  
 人事院勧告に伴う特別職の国家公務員の期末手当の改定に準じ、市長、副市長、教育長の平成27年12月期末手当の支給月数等、所要の改正を行うものです。  
 (可決・全)

**職員の給与に関する条例等**  
 人事院勧告に伴う国家公務員の給与改定に準じ、職員の給料月額、勤勉手当の支給月数等、所要の改正をするものです。  
 (可決・全)

### 予 算

**平成27年度一般会計及び特別会計6会計の補正予算**※詳細についてはホームページをご覧ください。  
 人事院勧告に伴う国家公務員の給与改定に準じ、人件費関係の補正を行うものです。  
 (可決・全)

# 委 員 会 報 告

## 平成28年度一般会計予算等について

### 総務常任委員会

当委員会は、付託された議案10件について審査しました。  
 行政不服審査法等関係条例の制定について、委員から、50年ぶりに見直された理由は、との質疑に対し、当局から、行政手続きに対する国民・市民への公平性・透明性を担保する等、抜本的な構造の改正をされたとの答弁がありました。

から①本市での移行は平成31年10月以降であるが、全体経費の四割程度の削減見込みである。②市内森林組合の間伐材が取扱い業者へ搬送され、大手製紙メーカーとの間で「琵琶湖の森の木になる紙」協定を結ばれ、そこで加工された紙を使用する、との答弁がありました。

栗東市消費生活相談窓口等に関する条例制定について、委員から生活相談の内容と休日対応は、との質疑に対し、当局から、コンピュータ関係が多数で、次に商品取引に関する事である。休日については改めて電話を掛け

平成28年度一般会計予算について、委員から①基幹系システム使用料やクラウド化による金額の軽減は。②広報で使用する間伐材は本市産の間伐材使用かとの質疑に対し、当局



当委員会に付託された10議案について、その他多くの質疑の後、採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

## 環境建設常任委員会

### 平成28年度予算等を審査

当委員会は、付託された議案12件について審査しました。

平成27年度一般会計補正予算について、委員から①工場誘致事業について、

㈱LEJに対して交付した補助金の総額は。

②いくつかの事業で国費の配当により減額となっているが事業の進捗への影響は、との質疑に対し、当局から①平成27年度までの累計で、10億7,600万2,150円である。

②国費が減額となれば事業は遅れるが、次年度に上乘せして国へ求める、との答弁がありました。

について、不法投棄者が判明した場合、除去費用の弁済を求めるとか。②新規就農総合支援事業について、青年就農給付金を利用された方は、その後農業を続けていける経営状態となっているのか。③土木管理経費について、国道8号バイパスの用地買収の状況は。また、今後の予定は、との質疑に対し、当局から①個人を特定できるものが見つければ、警察と連携し行為者に除去させる。②四半期ごとに県と市が立ち会い、営業状況を診断している。給付を受けられた方は農業経営として軌道に乗っている。③平成27年度は国の直轄予算が3倍となり、また、用地国債を活用して事業用地を先行取得できた。

次年度は、宅屋地先の用地買収が進んでいないため、幅杭の設置まで行いたい。また、出地先は今年度同様に、用地国債を用いて、引き続き用地買収を進めたい、との答弁がありました。

当委員会に付託された12議案について、その他多くの質疑の後、一部賛成・反対討論もありましたが、採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。



## 文教福祉常任委員会

### 平成28年度一般会計予算等について

当委員会は、付託された議案14件について審査しました。また、審査に先立ち湖南市学校給食センターの現場視察を行いました。

平成28年度一般会計予算について、委員から、地域子育て支援センターを一ヶ所増設されるが、児童館との違いと巡回の業務概要は、との質疑に対し、当局から、児童館は、法的な位置づけの中で児童厚生施設として「子どもの健全な遊びの提供」を実施する。地域子育て支援センターは、市の要綱において、親子の交流や子育て相談の情報提供、助言・援助の位置づけを行っている。治田東児童館の支

援センター化により、児童館業務に加え支援センター業務も遂行できる。巡回業務は、6児童館も含め、相談員が巡回し、相談体制を整える、との答弁がありました。

中学校大規模改修事業について、委員から①配膳室棟増築設計業務委託料の内容は。②学校給食共同調理場について、目標の時期に稼働できるよう、設計段階からの対策は、との質疑に対し、当局から①栗東中学校、栗東西中学校で実施する。敷地内に新しく3階建ての配膳室棟を建設し、棟内の各階の配膳室に給食配膳用のエレベーターを設け、既存の校舎の各階とつなぐ工事となる。②他市の建設事例を情報収集し、充

分な進行管理のもと進める、との答弁がありました。

当委員会に付託された14議案について、その他多くの質疑の後、一部賛成・反対討論もありましたが、採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。



▲栗東中学校

# 代表質問

## 日本共産党議員団

○は代表者 ●は質問者

○●大西 時子 伊吹 みちえ

### 「経済に安心を」について

**問**

トップセールスにより、これからも奨励金の交付で企業誘致を進めていくことが、税収確保につながっていくのか、現状と税収効果および地元雇用等地域経済に与える影響についての見通しを問う。

**答**

平成26年度からは、奨励金を上回る税収がある。雇用については、直接雇用および請負といった間接雇用とあわせて76人が従事され、うち、市内在住者は125人である。企業誘致は税収効果や雇用・経済効果が長期間にわたって期待できることから市の発展に不可欠なものであり、さらに、奨励措置は誘致促進や現在操業している企業の市外流出の歯止め効果的な措置であると認識している。

**問**

企業事業資金貸付金9億円の返済がいまだにされていない問題について問う。

**答**

9億円の返済がいまだされていない2社については、返済の意思が示されており、今後も引き続き早期返済に向けた協議を続ける。

### 「子育てに安心を」について

**問**

待機児童の解消に向けた、民間活力の活用を取り組みとは、具体的にどのようなことを進めていくのかを問う。

**答**

待機児童は、現在82名となっている。待機児童解消に向けて、市としては、子ども子育て支援法で定められた施設型給付ならびに地域型保育給付を念頭に民間事業者参入を促していく。

### 「暮らしに安心を」について

**問**

「同和個人施策」を続ける限り差別意識が潜在化する。また、同和問題を特別扱いするのは、市民感覚とかけ離れている。個人施策は、廃止し同和問題は人権問題として取り組むべきと考えるが、市の考えは。

**答**

いまなお、各分野で課題があることや差別事件・事象が未だに生じており、行政の責務として、取り組みは必要と考える。また、個人施策については、協議中である。

### 教育方針について

**問**

ひとり親家庭への「ひとり親福祉施策」とはどのような施策か問う。

**答**

母子・父子自立支援員を配置し、子育てや生活にかかる相談及び支援に取り組むとともに、就業支援として高等職業訓練促進給付金などの給付金事業を行っている。今後も施策の推進を図っていく。

◆各会派が、市長の施政方針等について質問しました。質問と答弁の要旨をお知らせいたします。なお、詳細内容は後日、市のホームページ等に掲載します。



# 新 政 会

○は代表者 ●は質問者

○寺田 範雄 藤田 啓仁 三浦 悟 ●上田 忠博 片岡 勝哉  
武村 賞 谷口 茂之 田中 英樹 三木 敏嗣

## 平成28年度予算・ 財政健全化について

**問** 予算について、\*プラ  
イマリーバランスを問う。

**答** 一般会計で、約7億円の  
黒字、特別会計を含む  
全会計は、特殊要因を除いて、  
約11億7,000万円の黒字と  
なる見込み。

**問** 財政健全化に向けた取  
り組みで、どのようにし  
て市民のご理解、ご協力を得る  
のかを問う。

**答** 中長期財政見通し、財  
政運営基本方針を踏まえ、  
広報、広聴活動を含め市民への  
「行政の見える化」の充実を図  
り、情報提供や共有に努める。

## 「経済に安心を」に ついて

**問** 五ヶ年計画の「商工振  
興ビジョンロードマップ」  
の今年度の取り組みを問う。

**答** 「消費者ニーズ調査」、  
「空き店舗調査」を実施  
する。

## 「子育てに安心を」 について

**問** 学童保育所の施設改修  
について問う。

**答** 施設の老朽化や設備の  
維持補修等は、年次的に  
対応し、増築等は、今後の人口  
動態を注視し取り組む。

## 「福祉・健康に安心 を」について

**問** 行方不明者の早期発見  
を図る「SOSネットワ  
ーク事業」の概要を問う。

**答** 高齢者の行方不明時、  
警察だけでなく自治体や  
地域の協力団体が捜索に協力し  
て、早期に発見保護する仕組み  
である。

## 「暮らしに安心を」 について

**問** 国道1号栗東水口道路  
の1期区間開通に伴い、  
通過車両の誘導等安全対策につ  
いて問う。

**答** 道路標識やカーナビに  
よる市内に通過交通を流  
入させない案内、市内道路での  
注意喚起等の路面標示等を実施  
している。

## 「行政に安心を」に ついて

**問** 第三セクター等改革推  
進債の公債負担低減につ  
いて、その見通しと今後の取り  
組みについて問う。

**答** 売却予定資産の早期売  
却及び金利見直し時にお  
いて借入利率の低減に努める。



## 教育方針について

**問** 「道徳教育の充実」に  
向けた教え方や具体的な  
取り組みを問う。

**答** 「道徳」の教科化に伴  
い、研修講座・校外研修  
等を行い、指導力向上を図って  
いる。子どもたちが社会規範や  
人としての在り方などについて  
理解を深めるよう、身の回りの  
出来事を扱った読みもの等を使  
い、授業の活性化を図るととも  
に、小学校において、道徳の学  
習を公開し、保護者への啓発を  
行っている。

**問** タブレット端末の有効  
活用など、ICT（情報  
通信技術）の活用について、取  
り組みと今後のデジタル教科書  
の導入について問う。

**答** 有効な活用方法を探り、  
子どもたちの学びに活か  
せるよう研究を進め、教育機材  
の整備を検討していく。

\*プライマリーバランス：財政収支に  
おいて、借入金を除く税金などの歳入  
と過去の借入に対する元利払いを除い  
た歳出の差

# 栗東市民ネットワーク

○は代表者 ●は質問者  
○林 好男 ●田村 隆光 中村 昌司

## 商工振興ビジョン ロードマップの実践 でワクワク感を

**問**

空き店舗を活用したチヤレレンジショップとは。

**答**

社会実験として栗東駅前  
のウイングプラザの空きテナントを活用し、5区画程度の小型ブースに創業希望者に安価で入居いただき、創業のスタートアップ支援をする。

## 休耕地の 有効活用を

**問**

企業の退職等を機に農業デビューする場所として、休耕地の「貸し農園」の拡大を望む声も多くあるが見解は。

**答**

休耕地を活用し「体験農業」として休耕地の有効活用や農業の持つ魅力アップに取り組んでいる地域もあり、地元農産物の消費拡大など波及効果も期待できる。地元の取り組みに対し積極的に支援していく。

## 地域資源を活用した ホースパークプロジェクト の推進を

**問**

総合戦略に明記したホースパーク・プロジェクトの構想とは。

**答**

当市の馬をはじめとする地域資源は、観光や福祉・医療、教育、レジャー・スポーツ、さらには就労など多くの分野での事業展開の可能性があると考えている。今後詳細を詰めて示していく。



## 子どもの貧困対策 の二環として学習支 援の拡大を

**問**

高校に進学しても経済的理由で不登校や中退を余儀なくされるケースが多くある。小学生や中学生の学習支援のみならず、市内の高校生が中退等のような状況に陥らないよう学習支援や進路相談など高校生にまで拡大すべきと考えるが市の見解は。

**答**

高校進学を目指す中学3年生を中心に、毎週金曜日ゆうあいの家で、学生ボランティア等の支援を受け志望校合格に向けて取り組んでいる。

## JR栗東駅に新快 速停車の要望活動 の強化を

**問**

JR西日本に対するJR栗東駅への新快速停車の要望活動の進捗を問う。

**答**

湖南4市で構成する湖南総合調整協議会において、毎年、JR西日本に対して

要望活動を行っているが、JR西日本からは、現在の栗東駅の乗降者数では新快速電車の停車は難しいとの回答である。要望実現に向けて引き続き取組んでいく。

## インクルーシブ 教育の推進を

**問**

障がいのある子どもも障がいのない子ども共に通常の学級において個性を尊重しながら学ぶ教育への転換が求められているが見解は。

**答**

障がいのある、なしにかかわらず、一人ひとりがその持てる力を最大限に伸ばし、自立して社会参加していき、環境整備の充実も含め、教育を推進することが大切であると考える。



# 栗東再生市民派クラブ

○は代表者 ●は質問者  
○國松 篤 ●櫻井 浩司

## 「施政方針から「はじめに」について

**問**

市民の皆様は「住んでよかった」と実感してもらえるために、第五次栗東市総合計画後期基本計画と栗東市総合戦略の施策をどのように進めていくのかを問う。

**答**

総合計画と総合戦略については、直近の5年間において、人口減少社会への対応について、毎年度評価等の検証を行い、目標の達成を目指す。また、評価の結果を市民の皆様へ情報提供し、本市の長所を伸ばしながら魅力を最大限引き出すことにつなげ、市民の方がいつまでも住み続けたいとなる安心な元気都市栗東の実現を目指す。

## 「経済に安心を」について

**問**

企業事業資金貸付金について、2社に貸し付けられた10億円の内、9億円の貸付金が、返済期日から4年が経過しているにもかかわらず、まったく回収できていないが。

**答**

2社合わせた返済計画が、平成25年1月に提示されたが、市として到底受け入れられない内容ではないため、返済計画の提出を再三求めているが、未提出のため、引き続き強く求めていくとともに、問題解決の方策を検討する。

## 「教育方針について

**問**

「子育て」「運動とあわせて、子育て」「保育」「教育」「子育て」「地域」の全てをつなぐための具体的な取り組みは。

**答**

「子育てのための12か条」を作成し、規範意識の醸成を図っている。特に低学年までに身につけられるよう、保護者の方々への研修会や懇談会を通じて、今後も啓発を強めていく。

## 「教職員の資質向上」について

**問**

対する準備の時間が取れないといった問題は改善されたのか。

**答**

事務の改善や学校サポート支援員等の人員を配置することで、多忙化を軽減し、教職員が授業改善に取り組みやすい支援を行っている。保護者対応については、保護者の価値観が多様化する昨今、保護者の思いと、学校の教育方針が合致せず、納得や合意に至るまで時間を要することが少なくないため、学校や教育委員会では、常に学校の教育活動を保護者にきめ細やかに発信し、理解いただけるよう努めている。

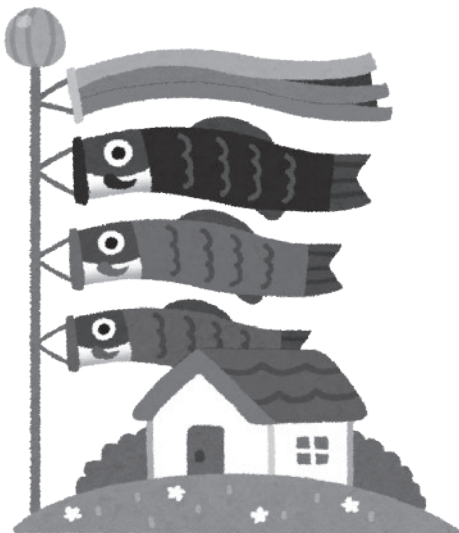
**問**

訪日外国人を栗東市へ誘致するための施策は。

訪日外国人観光客の思考は、日本のローカル文化を堪能する方向へ向きつつあると言われていることから、栗東市独自の文化となりうる観光資源やイベント、農業などを誘致策としてPRできるように検討する。

**答**

訪日外国人観光客の思考は、日本のローカル文化を堪能する方向へ向きつつあると言われていることから、栗東市独自の文化となりうる観光資源やイベント、農業などを誘致策としてPRできるように検討する。



# 東 栗 明 公

○は代表者 ●は質問者  
○●小竹 庸介 野々村 照美

## 「経済に安心を」について

**問** ※栗東市中小企業振興基本条例第5条の市の役割について考えは。

**答** 中小企業者等や大企業者との連携、国・県や商工会等の関係機関との連携を強化しながら取り組みを進める。

## 「子育てに安心を」について

**問** 妊娠・出産、出産直後の母と子をサポートする産後ケアと切れ目のない支援が必要では。

**答** 妊娠期から子育て期にわたる相談支援体制の充実、支援の推進を図るため母子保健型支援事業に取り組み。産後ケアの取り組みについては、退院直後の母子に対し、心のケア、育児のサポート等を検討していく。

## 「福祉に安心を」について

**問** 特定健診受診の受診率と無料化について問う。

**答** 平成26年度国民健康保険被保険者の特定検診受診率は、本市が36.4%で、滋賀県市町国保全体では38.2%である。平成28年度より、生活習慣病の早期発見・重症化予防や健康づくりを推進するため、国民健康保険に加入している特定健診受診対象者については公費負担により無料化する。



**問** 認知症対応の初期集中支援チームの設置について、厚生労働省の新オレンジプランでは、2018年4月までに全自治体で設置する方針であるが、考えは。

**答** 認知症に関する相談と早期発見、初期支援を集中的に行うために、平成29年度中の設置を目指している。

**答** 認知症に関する相談と早期発見、初期支援を集中的に行うために、平成29年度中の設置を目指している。

## 「暮らしに安心を」について

**問** 年々増加する市内の通過交通対策について問う。

**答** 栗東水口道路の暫定供用開始による交通量の増加の対策として、国施行の第Ⅱ期区間と、県施行の山手幹線の整備促進を求められている。知事から「平成36年の滋賀国体開催までに開通させたい」との発言があり、国・県とともに事業推進に取り組む。

## 「行政に安心を」について

**問** 本市の今年度末の財政状況と財政健全化に向けた考えは。

**答** 厳しい財政状況に変わりはないが、今後も、財

政運営基本方針に基づく財政規律を遵守し、改革効果を持続させつつ、社会経済情勢の変化等に対応し、平成30年度での健全化を目指す。

## 教育方針について

**問** 学校教育の充実の「生きる力」についての考えは。

**答** 「生きる力」を育むために、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育成することは、学校教育の課題である。さまざまな教育課題に対応するためには、各専門機関との連携、指導が出来る教職員の配置等に取り組む必要がある。

※栗東市中小企業振興基本条例第5条：市は、第3条に規定する基本理念のつとめ、中小企業の将来的展望を調査し、及び研究し、前条各号に掲げる基本方針に則した事業を総合的かつ計画的に策定し、及び実施する役割を担うものとする。

# 個人質問

3月9日・10日の2日間、9人が質問しました。質問と答弁の要旨をお知らせいたします。  
なお、詳細内容は後日、市のホームページ等に掲載します。  
議員の似顔絵は栗東高等学校美術科似顔絵制作チームにご協力いただきました。



## 認知症対策について

國松 篤 議員

認知症サポーター養成講座は、平成28年2月末で19回開催した。市広報・ホームページ・フェイスブック等多様な媒体・機会を活用し、認知症

認知症初期集中支援チームは、平成29年度設置を目指し、草津栗東医師会と協議をしながら認知症サポーター医等と、連携した体制整備を進めている。

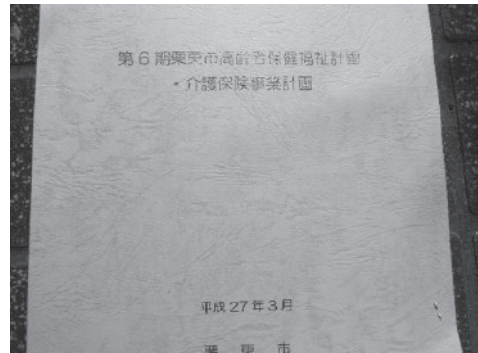
認知症ケアパスは、平成28年度に活用できよう素案を検討中であり、ケアパスの普及・活用で認知症の早期発見・早期対応を図っていく。

認知症ケアパスは、平成28年度に活用でき

認知症ケアパス作成や認知症初期集中支援チームの設置、認知症サポーター養成等「オレンジプラシ」に沿った市の進捗は、

平成28年2月末時点において、主治医意見書の日常生活自立度Ⅱ以上が1,058人、そのうち65歳未満は4人となっている。

認知症有病者数は、



高齢者の安全と家族等への支援に努めていく。

徘徊に対する対策は、次年度は、高齢者が行方不明になった時に警察や消防等の公的機関や地域の介護事業者や宅配業者、コンビニなどによるネットワークを構築し、早期に行方不明者を発見保護するSOSネットワーク事業の実施を予定している。関連事業として行方不明になる可能性がある方の事前登録制度も創設し、高齢者の安全と家族等への支援に努めていく。

への正しい理解の普及啓発に努めている。



## 民間の活力で「買い物弱者」解消をめざして暮らしに安心を

谷口 茂之 議員

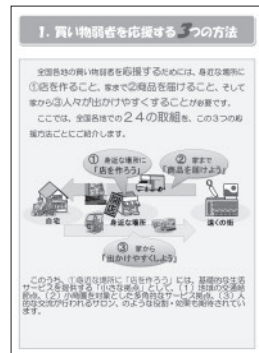
早期認知症の発見等、行政が主体で民間事業者とタイアップして取り組む考えは、来年度実施のSOSネットワーク事業で

買い物支援等サービス事業者の実態調査と事業者リストをホームページで公開・周知する。

「買い物弱者」に対するスーパー等の配達サービスの拡大についての市の考えは、

市民へのニーズ調査等から同居家族のいない高齢者等の買い物や通院が課題と認識している。

ひとり暮らしのお年寄り等が、食料品や生活必需品の購入に困る「買い物弱者」の問題について市は実態を把握しているのか。



▲「買い物弱者応援マニュアル ver.2.0」より経済産業省発行

子育て活動のボランティアに対し、ニーズの情報提供や機会の設定について検討する。

本市ではシルバー人材センターで同様の事業を実施している。

育児・介護の援助を受けた人を行いたい人が助け合う組織であるファミリーサポーターセンターを市で設立しては、

消費者ニーズ調査等や、市内事業者・創業者・シルバー人材センターに情報提供など行う。

「買い物弱者」対応など高齢者等を支える社会の仕組みづくりを商業振興の面から進める考えは、

「見守り活動」に協力いただけるよう事業者との連携を深める。



# 個人質問



## 国道8号バイパス並びに周辺幹線道路について

田中 英樹 議員

**問** 国道8号野洲栗東バイパス並びに、片岡栗東線の進捗状況を問う。

**答** バイパスは、平成34年の開通を目標に要望活動を行っている。

片岡栗東線の4車線化事業は、平成32年3月の完成を目標としている。



**問** バイパス構造が盛土であれば、地域内の分断、風通し、止水時の内水排水の問題があると思うが対応を問う。

**答** 出来るだけ高架橋構造とするが、盛土部であっても、道路の機能復旧という形でバイパスを横断できる構造にする。風通しや内水排水を考慮した設計をしている。

**問** 片岡栗東線の拡幅工事により、歩行者等の安全は担保できるかを問う。

**答** 自転車歩道を設ける。横断については、3ヶ所に信号機を設置するように要望している。

**問** バイパス供用に併い沿線のまちづくりについて問う。

**答** 美田を活かしていきながら、地域の思いはどうなのかを周辺の皆さんと話をしていく。

**問** 観光まちづくりについて

**問** 本市の観光入り込み客数と調査地点について問う。

**答** 日帰り・宿泊合わせで年間約49万人である。調査地点は18地点と、2つのイベントである。

**問** ある「夏まつり」について問う。

**答** 実行委員会では、今年からは中止とし、来年以降は検討していくとの事である。

**問** 手原駅にある観光案内所のあり方について問う。

**答** 利便性の向上を踏まえ、市の観光振興計画で定め、観光物産協会に委託する。

**問** ホースパークプロジェクトについて問う。

**答** 「馬のまち栗東」にふさわしい事業展開に向けてプロジェクトを推進していく。



## 自殺予防対策について

野々村 照美 議員

**問** 国においても、自殺対策は、重要な問題であるが、本市においての相談窓口の取り組みは。

**答** こころやからだ、就労、生活困窮、生活保護、学校、子どもの悩み等関係各課に相談窓口を設置し、他機関との連携を図る体制で相談に対応している。相談機関の周知としては、広報りつとうに、相談窓口一覧表を掲載し、全戸配布を行っている。

**問** 自殺対策連絡会の体制は。

**答** 自殺予防を総合的に推進するため、健康福祉部長を委員長とし、17部署の係長以上の職員で構成している。

湖南圏域では、草津健康福祉事務所が事務局となり、相談における課題や取り組みの内容について情報の共有を図っている。

**問** 自殺防止対策の取り組みは。

**答** 相談機関等を整理し、年度当初にホームページに掲載を予定している。

また、毎年9月の自殺予防週間には、市役所ロビーに横断幕を設置し、来庁者に周知を図っている。

**問** 小、中学生の心のケアと自殺防止教育の取り組みは。

**答** 授業だけでなく、教育活動のあらゆる場面でを行っている。また道徳教育の中で、命の大切さや悩みを相談することの重要性について話し合いをもち、命や自分を大切に学習、学校行事等の機会に生徒会メッセージなど、教育活動全体を通して取り組んでいる。



# 個人質問



## RD最終処分場問題について

櫻井 浩司 議員

**問** RD最終処分場問題について、栗東市の取り組み姿勢を問う。

**答** 現地見学会の案内や結果報告等が一部欠落

したことは対応不足であったと痛感している。今後は、環境建設常任委員会や議会説明会を通して情報共有を図っていく。また、県・市連絡協議会により、市として課題を整理し、県との意見交換を行い周辺連絡協議会に臨んでいく。

**問** 空き家対策について

**答** 本市の空き家対策に関する協議会等の設置の進捗状況を問う。

**答** 庁舎内においては、住宅課を窓口として、

まちづくり全般にかかる部署での対応が必要。対外的には、有資格者（建築士等）、学識経験者等、専門家に加え、公募者による協議会構成を考えている。開催時期は、平成28年度上半期を考えている。



**問** 空き家バンクについての考えを問う。

**答** 空き家の有効活用という点では、まずその情報が必要であることから、所有者の意向を確かめ、その傾向や方向を見極め、情報を整理した上で、空き家バンクの設置に向けて検討していく。

## 介護保険制度改定について



大西 時子 議員

**問** 介護保険施設入所待機者数及び在宅寝たきりの方の人数は。

**答** 平成27年11月末現在の待機者は、特別養護老人ホーム2施設で177人、介護老人保健施設で17人、グループホーム2施設で39人である。また、平成28年2月末現在、寝たきり度B以上の方が359人である。

**問** 紙おむつの補助について、対象となる条件と人数は。

**答** 平成28年2月末現在186人に支給している。紙おむつ補助対象条件は、要介護認定区分の要介護3以上の認定を受けた者のうち、対象者、対象者の配偶者、対象者の満65歳以上の扶養義務者で、1月から6月までの間は前々年の課税標準額が145万円未満であり、一年以上住所があることが条件である。

**問** 老老介護や家族の介護負担の軽減対策は。

**答** 配食サービス、緊急通報システム、徘徊高齢者家族支援サービス、紙おむつ費用助成を実施している。

**問** 介護保険制度改定で、要支援1、2が、2017年までに「新総合事業」に移行するが、どのように支援していくのか。

**答** 地域包括支援センターの専門職が対応し、基本チェックリストで、心身の生活状況の査定と支援計画を立案するとともに、専門職をはじめ様々な機関、団体と連携しながら地域で暮らせるよう、支援していく。



個人質問



JR手原駅の施設改善要望について

中村 昌司 議員

**問** 駅のベンチ設置数が少ないように思う。また、改札口付近には栗東観光案内所が設けられているが、時間外（閉室）の場合は、施設内のベンチも利用できない。本市のにぎわいあるまちづくりや誘客事業の推進のため、

**答** JR手原駅ホームに自由通路の下部を屋根とし、階段部分を側壁として一定の風除け機能は有しているが十分な機能ではなく、季節によっては、幼児や高齢者など特に配慮を要する方々にとつては、厳しい待合の環境になっている。ホーム待合室の設置は、草津線複線化促進期成同盟会で、JRに対し要望書を出している。

**問** 現在の手原駅には、駅利用者が電車の到着待ちの際、利用するホーム待合室が設置されていない。本市を訪ねていただける観光客や日頃の駅利用者の利便性の促進に向け、新たに待合室の設置を提案したいが、見解を問う。

**答** JR手原駅ホームについては、駅舎及び自由通路の下部を屋根とし、階段部分を側壁として一定の風除け機能は有しているが十分な機能ではなく、季節によっては、幼児や高齢者など特に配慮を要する方々にとつては、厳しい待合の環境になっている。ホーム待合室の設置は、草津線複線化促進期成同盟会で、JRに対し要望書を出している。



▲JR手原駅自由通路

**答** ホームのベンチは、ホーム幅との関係もあり増設は厳しいものがある。自由通路には2台設置しているが、今後の増設については、自由通路としての機能を確保する中で、観光案内所の利用とも合わせた、総合的な観点の中で考えていく必要がある。観光案内所の開所時間の延長や駅施設環境整備については、ご意見を参考に取り組んでいきたい。

ベンチの増設など何らかの改善を加えるべきだと思いが、見解を問う。

意見書

傍聴にお越しく下さい

本会議・委員会審査は、どなたでも自由に傍聴いただけます。

開会時間は、いずれも9時30分を予定しています。

日程については、現段階での予定であるため、変更になる場合がありますのでご了承下さい。

5月臨時会の予定

5月27日	議長選挙等
-------	-------

6月定例会の予定

6月9日	本会議(議案上程等)
16日~20日	本会議(個人質問)
21日~23日	各常任委員会
28日	本会議(委員長報告・採決)

(土・日除く)

ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化策を求める意見書

近年、一部の国や民族又は特定の国籍の外国人を排斥する差別的言動(ヘイトスピーチ)が、社会的関心を集めている。

昨年に、国際連合自由権規約人権委員会は、「あらゆる形態の人種差別の撤廃に関する国際条約(人種差別撤廃条約)」上の人種差別に該当する差別的言動の広がり懸念を示し、締約国である日本に対し、このような差別的言動に対処する適切な措置を採るべきとの勧告をした。

さらに、国際連合人種差別撤廃委員会も日本に対し、法による規制を行うなどのヘイトスピーチへの適切な対処に取り組むことを強く求める勧告を行っている。

最近では、京都地方裁判所及び大阪高等裁判所において行われた、特定の民族・国籍の外国人に対する発言に関係する事件について、違法性を認めた判決を、最高裁判所が認める決定を下している。

ヘイトスピーチは、社会の平穏を乱し、人間の尊厳を侵す行為であり、それを規制する法整備がされている国もある。

2020年には、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されるが、ヘイトスピーチを放置することは、国際社会における我が国への信頼を失うことにもなりかねない。

よって、政府においては、表現の自由に十分配慮しつつも、ヘイトスピーチ対策について、法律の制定を含む強化策を速やかに検討し、実施することを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

みんなで考えよう  
栗東市

# 議会報告会

を開催します。

日 時	場 所	
5月19日(木)	受付:19時00分から 開始:19時30分	コミュニティセンター葉山東
		コミュニティセンター治田西
5月22日(日)	受付:19時00分から 開始:19時30分	コミュニティセンター大 宝
		コミュニティセンター治 田

どの会場にもご参加いただけます。いずれも、同じ内容で約1時間半程度を予定しています。  
コミュニティセンター大宝の周辺には駐車スペースがございません。  
当日、車をご利用される場合は、「大宝小学校職員駐車場」をご利用下さい。

## 第一部 議会報告

3月定例会で審議した主な議案などを報告します。

- **総務常任委員会** …………… 政策推進部、総務部、市民部などに関する事
- **環境建設常任委員会** …… 環境経済部、建設部などに関する事
- **文教福祉常任委員会** …… 健康福祉部、教育委員会などに関する事

## 第二部 意見交換

議会活動や市政に関して、テーマを設け意見交換をさせていただきます。

テーマ「まちづくりについて」など

### 参加方法

- 事前申込みは要りません。直接会場へお越しください。
- 手話通訳者の配置をご希望の方は、5月11日(水)までに議会事務局へ連絡をお願いします。
- 当日は本誌をご持参ください。

問合せ／議会事務局(市役所4階)

TEL 551-0137 FAX 551-0146 E-mail: gikai@city.ritto.lg.jp



## 議 場 演 奏



## 編集後記

カラフルな鯉のぼりが気持ちよさそうに空に泳ぐ季節になりました。この季節になると、なぜか身も心もウキ立ち嬉しくなります。

今議会で平成28年度の当初予算が成立いたしました。福祉・教育等の支援関連予算も多く嬉しく感じています。

議会の最終日には「開かれた議会」の一環として、「さくらジュニアオーケストラ・アカデミー受講生」19名が議場演奏をされました。素晴らしい演奏で感動を頂きました。

今月号から、市の広報に準じて右綴じ・縦書きにリニューアルをいたしました。より親しみのある読みやすい広報を目指して努力してまいります。更なるご指導・ご鞭撻を頂きますよう、お願い申し上げます。

議会広報編集特別委員会

(委員長) 片岡 勝哉 (副委員長) 國松 篤  
(委員) 林 好男 寺田 範雄 伊吹みちえ  
野々村照美 三木 敏嗣